

第6回国際女性会議WAW!

全体テーマ: WAW! with Men (男性と一緒に作るWAW!) ~ 固定観念から自由になろう

1日目: 4月3日(金)

午前: オープニング・セッション

開会挨拶

基調講演・挨拶

パネル・ディスカッション I: 「女性活躍推進のための男性のリーダーシップ～HeForSheの取組」

2014年、国連は、男性を含む世界中のすべての人がジェンダー平等に参画し、変革の主体となれるようにHeForShe運動を始めた。女性活躍推進を進める上でのリーダーシップの重要性、グッド・プラクティスの共有を行い、HeForSheの重要性を再確認しつつ、いかに女性のエンパワーメントを実現していくかについて考える。

- 男性リーダーが率先して女性活躍推進を進めることの社会にとってのメリット
- HeForSheインパクト・チャンピオン(安倍総理は10人の首脳の中の1人)の活動内容と優良事例
- HeForShe運動やその賛同者(フォロワー)を世界に広めていくためにできること

午後: パネル・ディスカッション

パネル・ディスカッション II: 「人生を通じて輝き続けるために」

ライフシフトの考え方が注目を集める中で、現役時代のみならず引退後も充実した人生を送るために、仕事、家庭生活、意識面など人生の様々な側面を新たな視点で捉え直し、人生を通じて輝くための術と新時代に相応しい働き方、社会や家族の在り方を考える。

- 男性、女性が共に健康で生産的な生き方をできるだけ長く続けるためには何が必要か(男性の家庭・社会への積極的参画によって生じる男性自身・社会・女性にとってのメリット)
- 男性リーダーのイニシアティブによる職場におけるダイバーシティ促進(女性登用や企業文化の改革を含む)
- 人生を通じたワークライフ・バランスの再構築(男性の家庭参加の促進、定年後2～30年を見据えた夫婦のあり方、介護を含むケアワークの分担、地域社会(PTA、自治会など)への貢献)

パネル・ディスカッション III: 「スポーツとダイバーシティ、スポーツの持つパワー」

スポーツ界に存在するジェンダーの観点からの問題を取り上げつつ、スポーツが持つパワー(限界に挑戦する姿、One Team、プレーヤーと観客の間の連帯意識)が多様性のある社会作りや国際交流に果たす役割について考える。

- スポーツが持つ力を活用して、ダイバーシティを確保した社会へ(パラリンピックとダイバーシティを含む)
- スポーツ界におけるジェンダー平等の観点からの問題(男女の差別待遇、男女の役割の固定化、暴力、性的マイノリティの扱い等)
- スポーツを通じた国際交流

分科会, スペシャル・セッション

分科会①:「プライベート・セクター発, 女性の経済参画を進める様々な取組」

女性の経済参加促進に向けた国内外の取組を紹介しつつ, 起業を含む女性の経済参加促進が社会全体に与えるメリットと, 様々な取組が相乗効果で経済も社会も良くなっていく仕組みについて考える。

- W20, 30%クラブ(取締役レベルでの女性の割合最低3割), WeConnect(女性企業からの調達)といった事例から見てくるもの(ジェンダー投資のメリット, 女性の経済参加促進を阻む障害と解決に向けた方策)
- ミドル・マネージメントクラス, 若手社員が考える女性の経済参画促進
- プライベート・セクターがパブリック・セクターに求めるもの

分科会②:「世代を超えて変化を起こし, 変化を担う～北京世界女性会議から25周年を迎えて」

2020年は, 「北京宣言」及び「行動綱領」が採択されてから25周年, 持続可能な開発目標(SDGs)が採択されてから5周年の年。2020年3月の国連女性の地位委員会(CSW)では世界の変化と更なる課題についてレビューする。近年の社会変革の中で道を切り開いてきた男性・女性に焦点を当て, ポジティブな変化を確認しつつ, 本年のCSWのテーマである「Generation equality(平等を目指す全ての世代)」をも念頭に, さらなる変化に向けた世代を超えた取組について考える。

- 従来の性別区分にとらわれない職業に就く男女からの体験や知見の共有とこれが周囲や社会に与えるポジティブな影響
- 一人が道を切り開く際に, サポートとなる環境や考え方を掘り下げる
- 世代間での協力の取組とその拡大に向けた課題

スペシャル・セッション①:「身近なことから始めよう～「女性が輝く社会」を共に作るためのファースト・ステップ」

「女性が輝く社会」は男性がより生き生きと暮らせる社会でもある。そんな社会の実現に向けて男女が共に取り組みたい。でも, 具体的に何をすればいいのかわからない。そういった人たちと共に, 育児をメインテーマとしてまず何から始めればいいのか考える。

- 育児参加へのファースト・ステップ(男性の育児休暇)
- 見えない家事の分担
- 男性の家事・育児参加に対するアンコンシャス・バイアス(家族等の身近な人からのものも含む)とその解消, 男性の生きづらさへの理解の促進

スペシャル・セッション②:「日常生活の中のアンコンシャス・バイアス」

学校で, 家庭で, 職場で潜んでいる性別に基づくステレオタイプを探り, 自分の中にあるアンコンシャス・バイアスを意識化すると共に, アンコンシャス・バイアスを解消するための方法やアンコンシャス・バイアスのない社会の構築に向けた取組について参加者と共に考える。

- ステレオタイプを刷り込まれることの弊害, 悪影響の考察
- 広告やメディアの負の影響(アンコンシャス・バイアスの創設, 追認)と, アンコンシャス・バイアス解消に向けた広告・メディア・インフルエンサーの活用(アンコンシャス・バイアスへの気づきの促しと新たな価値観の創造)
- 学校教育におけるジェンダー教育
- 家庭生活の中のバイアス

2日目:4月4日(土)

午前:分科会, スペシャル・セッション

分科会③:「地方からの変革～女性発のグッド・プラクティスと男性による後押し」

人口減少, 若年女性の流出, 少子高齢化, 雇用の縮小等, 地方は様々な問題を抱えている一方, 男女ともに輝ける社会に向けた取組を行っている地方もある。地方が抱える問題に対処し, 力を取り戻すため, また, 自分に自信を持てないことが多いと言われている女性の力を社会に活かしていくために行われている地方発の取組やその経験を共有し, 地方変革の処方箋について考える。

- 地方の女性が直面する課題とは(大都市とは何が違うのか)
- 女性の課題を解決するための社会のあり方とは(地方発女性活躍の取組の共有)
- 女性自身の意識改革と男性による後押し(女性が変わる地方自治や町おこし)

分科会④:「困難を抱える女性を支えていく」

女性は男性よりも厳しい生活・雇用環境に置かれやすい。そのような困難な状況にある女性が直面する課題とそれが社会に与える負の影響を明らかにするとともに, 1人親の貧困, DV, 子どもの虐待といった負の連鎖を食い止めるための方策を探る。また, 困難な状況を克服した人からの体験を共有し, 困難を抱える女性を支援するための効果的な方策を議論する。

- 困難な状況にある女性の実態と直面する課題(1人親, DV, 子どもの虐待, 高齢女性の貧困等), 負の連鎖を未然に防ぐための官民による様々な取組とその効果
- 人身取引を含む暴力の対象とされやすい若い女性への予防・啓発と保護等の施策
- 困難を抱える女性を支えるためにできる身近な支援

スペシャル・セッション③:「ユースが考えるこれからの社会～私たちはこんな組織で働きたい～」

日本及び海外のユースが考える理想の働き方, パートナースhip, 生活, 国際的課題との関わりとは。高校生, 大学生を含む若者が共にこれからの社会のあるべき姿につき考える。

- ユースが考える理想のワークライフ・バランス, パートナースhip
- ユースが考える現代社会の生きづらさ, ジェンダー不平等の原因と解決策

スペシャル・セッション④:「武道×女性:武道が女性を強くする」

パネル・ディスカッション

パネル・ディスカッションⅣ:「ジェンダーに基づく暴力とその原因, 私たちにできること」

近年, 「#MeTooムーブメント」や, 2018年のノーベル平和賞を紛争下の性的暴力関連活動を行っている人たちが受賞するなど, ジェンダーに基づく暴力(Gender Based Violence: GBV)が国内外の注目を集めている。GBVは様々な形態をとり, 私たちの大切な人を傷つけ, また, 男女を問わず被害者となりうることから, 誰にとっても他人事ではない。被害者への偏見を無くし, 支えていくために必要なことやGBVを防ぐための国内外の取組(加害者をなくすための取組を含む)とその効果について議論し, 男性を含む私たち1人1人ができることを考える。

- 様々な態様のGBVへの認識を高め, その根本原因を探る(力による支配, ジェンダー平等意識の欠如)
- GBVが被害者・社会に与える負の影響(トラウマ, 負の連鎖(性暴力の結果生まれた子どもに対する差別), 紛争下で武器として使用された場合の影響)
- GBVに関する官民の様々な取組(加害者をなくす取組を含む)と, コミュニティや私たちにできること

(注)GBV:ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)に基づき, 相手の意思に反して害を与える行為

クロージング・セッション

分科会報告, 総括, 閉会挨拶